

精神障害者地域生活支援  
 とうきょう会議  
 運営委員会 議案

期日：2014年6月30日（月）

時間：19:00～21:30

場所：すぎなみ151

司会：鈴木 卓郎 記録：大倉

参加者：理事4名中 4名、監事2名中 2名、運営委員11名中 3名、  
 センター部会 2名、事務局5名中 4名、会員 0名 計 15名

理事（出席者は氏名の前に○）							
○	鈴木 卓郎	○	金川 洋輔	○	近藤 淳	○	半田 佳子
監事							
○	小見山 政男	○	佐藤 あゆみ				
運営委員							
	東 貴宏		今村 まゆら	○	斎藤 隆彦		佐藤 有紗
	佐野 澄子	○	瀬川 聖美		田中 直樹		西根 博貴
○	蓮沼 和音		樋口 勝				
支援センター部会からの参加							
○	細川 亜希子	○	永井 良宗				
事務局							
○	丹菊 敏貴	○	亀山 元	○	新堀 裕樹		三村 豊
○	大倉 由利江		進藤 征寛				
会員の参加							

1. 項目：とうきょう会議パンフレットづくりプロジェクト

担当：鈴木 卓郎

【要旨】

新たな会員や研修講師等に対して団体の概要や活動目的が理解できるようパンフレットを作成していきましょう。

【検討の概要】

総会時の組織図やまた詳細はHPを見てほしいという案内も入れたらどうか。という意見が出されました。

【結論】

現在、下案を鈴木さんが担当し、近藤さんがデザイン等アレンジを行っています。引き続きプロジェクトを進行していきます。

2. 項目：6.26集会について報告

担当：近藤 淳・丹菊 敏貴

【要旨】

当日集会の様子を近藤さん・丹菊さんより報告してもらいました。

<近藤さん>

集会の10日前から病棟転換型居住系施設について考える会に参加。あみととうきょう会議でステージ進行を分担する事になった。

集会まで3週間の準備期間しかなく日比谷野音の会場を埋めるのは難しいと言われていたが、当日はJD・きょうされん等様々な団体が参加し、参加者2500人の目標に対して結果的には3200人が集まった。「とうきょう会議」からは300人ぐらい参加されたよう。

当日の流れは第1部は呼びかけ人の長谷川利夫さんから始まり、議員の方の話、当事者・家族・支援者のリレートークが続いた。第2部は身体・知的の他障害の方や医療系スタッフ（ワーカー・看護師）話された。

暑い中だったので参加者は大変だったと思うが医務室で休まれた方は5人であった。

短い準備期間を考えると大成功だったのではという声が多く上がっている。

集会に関してとうきょう会議会員の反応が良かったという印象を持っている。

病棟転換型居住系施設に対しては集会をきっかけとして今後どのようにとうきょう会議はかかわっていくか考えていきたいと思う。

また、7月開催されるあみ全国大会では病棟転換型居住系施設をテーマに分科会を開催する。

<丹菊さん>

当日は音響係りとして手伝いました。今回の集会を契機に現場にいる支援者は何ができるのかを考えていきたい。病棟転換型居住系施設について考える会には、様々な立場の人が参加し、意見も様々であるが、とうきょう会議として協力できる事は行っていきたい。

#### 【検討の概要】

・とうきょう会議という呼びかける媒体を作った良かった。また、とうきょう会議の存在が今回の集会を通じて知られたのも良かったのではと思う。

病棟転換型居住系施設の問題に対して普段の現場の支援の中でどう考え動いて発信していくかを運営委員会でも検討してもいいのでは。退院者を増やすことを目指すために病院とも協力していくしなやかさも持ちたい。(鈴木)

・病院スタッフ個々では反対の意見はありながらも組織として表明できない人はたくさんいるのではないか。実際、今回の動きに対してPSW協会などの職能団体は動いていない。病棟転換型居住系施設病床転換ができたとき病院スタッフとも協力して、退院促進事業をうまく利用していくのが現実的だと思う。(小宮山)

・今回の集会で3000人以上集まったことは歴史的な一歩ではないか。「とうきょう会議」としての立ち位置を示していくこと考えていきたい(近藤)

・今後の病棟転換型居住系施設の問題の動きはMLで流したい。また、東京都への要望も考えていく時期。その日程調整もしていきたい。地域移行体制整備事業や指定一般相談事業所が増えない現状、中部精神総合保健センターのアウトリーチ事業のことなどを個人的には議題として、取り上げたい。今回のことは、そのことにもつながってくると思う(丹菊)

#### 【結論】

・病棟転換型居住系施設について考える会の動きを見つつ「とうきょう会議」としてどのように動くか今後も検討していく。MLで会員に情報提供を引き続き行っていく。

・東京都との意見交換会の日程調整を事務局で行っていく。

### 3. 項目：会費請求の件

担当：事務局 丹菊 敏貴

#### 【要旨】

今年度の会費請求を行っていきます。よろしくおねがいします。

---

### 4. その他（各部会報告・連絡等）

#### ◆相談支援従事者研修企画部会

#### ◆東京都自立支援協議会

#### ◆東部ブロック

・ 7月25日（金）18時から支援者の燃え尽き防止というテーマで研修会を開催。

「とうきょう会議」会員は無料です。詳細はMLで流します。

・ 7月より東部マップ作成していきます。

#### ◆スポーツ企画部会

・ 11月20日（木）バレーボール大会開催。参加者1200人を目標としています。

今回は、競技部門は廃止し一般部門と特別部門（参加費10000円。利用者4名＋ボランティア・スタッフの混合チーム）を作ります。大会案内を「とうきょう会議」会員だけでなく非会員にも送付するという意見も出ているが今年度は難しいので来年度は検討してみます。→病院のデイケア等に案内を送付してはという意見が出されました。

#### ◆広報部会

#### ◆研修部会

#### ◆調査部会

#### ◆支援センター部会

#### ◆都精民協担当

次回の都精民協

日時：2014年8月27日（水）18:15～

場所：東京都社会福祉協議会会議室

内容：改正法の説明（東京都：障害施策推進課熊谷部長）

#### ◆事務局

・Tokyo Letterについて。広報部会がなくなり事務局でまとめて送付していきます。次回運営委員会までに掲載内容や執筆者の検討をお願いします。

・「精神しょうがい者スポーツ国際シンポジウム・会議報告書」「精神科・精神神経科・心療内科医療機関名簿」「東京都の精神保健福祉（H24度版）」が事務局に届きました。

#### ◆その他

・とうきょう会議研修案内を授産連に周知していいか。（佐藤さん）→運営委員会の了解を得ました。

次回の運営委員会 7月28日（月）19:00～ 場所：すぎなみ151

以上